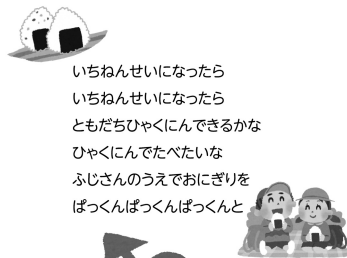




(発行)
熊本市教育委員会事務局
学校教育部 総合支援課
学校サポート班
(文責)
指導主事 田中 慎一郎
tanaka.shinichiro@city.kumamoto.lg.jp

熊本市教育センターホームページからもバックナンバーを見ることが出来ます。(^_^) 〽



いちねんせいになったら
いちねんせいになったら
ともだちひやくにんできるかな
ひやくにんでたべたいな
ふじさんのうえでおにぎりを
ぱっくんぱっくんぱっくんと

出会いはちょっとずつの方がいい…

小さいころよく歌ったこの歌。なんだか小学校の入学が楽しみだったのを思い出します。子どもにとっても大人にとっても人との出会いは、嬉しい気持ちになるものです。人がより多くの人と出会いたいと思うのは当たり前のことなのかもしれません。ところが、「人付き合い」とは何かしらの面倒臭さを伴います。それも当然といえば当然かもしれません。それぞれに自我があり、私たちは相手を尊重しながらも自分の主張をします。その一方で、AI技術の進歩で、電気をつけてくれたり

話し相手になってくれたりするものが、既にこの世に登場しています。その機器は、インターネットにつながり、家の電気やエアコンを操作してくれたりもします。遠くない未来、あらゆる家電がインターネットにつながり、AIが私たちの世話をしてくれるようになるかもしれません。AIは、自分に対して嫌なことは言いません。自分の思い通りのことをしてくれます。しかし、自我がある「友だち」は違います。目の前の人、自分にすべて合わせてくれるとしたら、それはそれで気味が悪いものです。「何か気に食わないところもあるけれど、それだけたまには喧嘩もするけれど、

でもいっしょに遊ぶと楽しい。」そんな友だちが私にはいました。そんな友だち付き合いを通して、私は折り合いをつける力を学びました。今、大人になって社会に出ていろんな人と上手に付き合えるのは、私が折り合いをつける力を子どもから大人になる過程で手に入れたからでしょう。気に食わないところも含めて目の前の人と丁寧に付き合うのは意外と難しいものです。さて、冒頭の歌の3番では「ともだちひやくにんできるかな」の後にはこう続きます。「ひやくにんでわ

らいたい♪せかいじゅうをふるわせて♪わっはは わっはは わっはは♪」いきなり100人を大事にするなんて小学1年生にはできません。ちょっとずつ出会いの数を増やすことが、歌のような100人全員で笑える世界を作るのかもしれない。インターネットを介した出会いは、いきなり数が増えてしまいます。丁寧な出会いを子どもたちに保証したいものです。

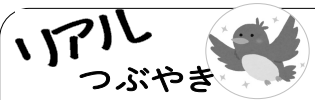


心の中のモヤモヤ…
ひょっとしたら、友だちや親、先生にも相談しにくいこともあるかもしれない

LINEで相談を受け付けます まずは友だち登録を

期間：令和元(2019)年8/19(月)～令和元(2019)年9/1(日)
令和元(2019)年9/8(日)～令和元(2019)年12/22(日)の毎週日曜日
令和2(2020)年1/6(月)～令和2(2020)年1/8(水)

対象：県立以外の熊本市の学校に籍を置く中高生 時間：17:00～21:00 計33日



弁当の中に入れる焼き魚は？と聞かれれば、鮭より鯖と答える田中です。ところで！バスや市電で通勤する私にはスマホが欠かせません。というのも、スマホに交通系ICカードを登録しているからです。これがとても便利！乗るときと降りるときに1回だけリーダーにスマホをかざすだけで支払いが済みます。しかもバスにも市電にも両方使えます。小銭を慌ててバスの中に落として他の降りる人に迷惑をかけることもありません。▼移動中は、映画を見ます。！！！！「運転手さん降ります！」画面を見すぎて、降りる場所を過ぎそうになった私。でも、支払いはスマホをリーダーにかざすだけです。「なにい〜！！！！チャージ残額が20円！！」慌ててネットで入金しようとするけど、時間が掛かります。バスが遅れば乗客のみなさんにも迷惑をかけます。「運転手さん、現金で払わせてください！」そんな時に限って、お札を両替しなくてはならないし小銭はバスに転がすし…やっとのことで払い終え「みなさんご迷惑をおかけしました！！」と乗客の方々に大きな声で謝り、バスを降りました… とバスを降りて10秒後。▼弁当をシートに置き忘れたことに気づきます。「バスよ待って〜(涙)」結局、バスの背中を見送ることに… 毎朝、最初に最寄りの停留所に着いたバスに乗るので自分が乗ったバスの行き先がわかりません。なんとか、バスの背中で行き先を確認して、すぐに営業所に電話をかけました。「ただいま電話が込み合っております。」バス会社の自動応答メッセージです… 私みたいに弁当の置き忘れがたくさんいるのかなあ？「そんなことないでしょ！」という同僚の突っ込み。時間が早すぎたと考え、しばらくして電話をしたらつながりました。なんと、私の弁当は東区の終点まで行った後に、西区の西部車庫まで長い旅をしていました。「すみません…サクラマチで受け取れますか(T_T)」▼ありがたいことに、私の弁当はさらにバスに乗ってサクラマチまで戻ってきました。しかも、お昼前に間に合わせてくれました。どんなに便利な世の中になっても、やっぱり人を救ってくれるのは人なんですね。